

全国大学書道学会

会報

18

平成29年(2017)
6月1日発行
全国大学書道学会

『文字文化』とは何か

会長 平形 精一

今春告示された小・中学校学習指導要領のうち、中学校国語第三学年書写の指導事項に「文字文化の豊かさに触れ」の文言が登場した。現行の『解説書』の中にも「文字文化に関する認識を改めて形成させる」とあり、「文字文化」とは手書き文字のみならず活字など文字全体を含むことが記されている。

一方、来春改訂予定の高等学校同国語について、中教審の関係資料では「現代国語」（仮称）と並んで必須科目とされる「言語文化」（同）の中で「文字文化（書写を含む）」についての理解」と明記されている。

ところでこの文字文化について、私がかつて勤務していた静岡大学の国語教科会議で、書写・書道概念をふくらませて文字文化の語を使ったところ、国文学・漢文学の教員から、われわれの「文字」こそ文字文化の最たるものだと強く叱正されたことがあった。文字がなければ文学も成立しえず、この主張に首肯せざるを得なかったことを思い出す。

書写が文字文化のカテゴリーに含まれることに異論はないものの、中核に位置づくかどうかは議論の余地がありそうである。文化・言語・文字・書写などの概念をどう規定し、相互の関連をどうとらえるのか、これは教育以前の問題であり、今こそ本学会の叡智を結集した提言が待たれるところである。

第五九回東京大会開催と六〇周年記念行事について

理事長 横田 恭三

昨今、国内外でさまざまな動きが活発化しています。ヨーロッパでは難民問題やテロ対策、東アジア圏では北朝鮮問題、それに呼応したかのような改憲論議などです。一方、国内では子供の貧困問題、大学教育費無償化など、いずれも重要な課題として話題にのぼっています。

大学・短大を取り巻く環境もますます厳しくなっています。大学・短大進学率は五四・八%（現役生、平成二八年十二月文科省調査）、私大の半数近くが定員割れを起しているという現実です。こうした状況にともなって入試業務や事務処理も年々増加傾向にあり、じっくり研究に打ち込む時間がますます削られています。とはいえ、書写・書道の科目を開設している大学の教員として、書写と書作の両立を図りながら、次代を担う研究者・教育者の育成に力を注いでいることは言うまでもないと思われれます。

さて、本年度の三学会大会は、九月二九日～三十一日の三日間、東京学芸大学で開催されます。東京学芸大学での開催は、第八回（昭和四一年）と第二六回（昭和五九年）に続いて、三三年ぶり三回目の開催ということになります。日本を代表する教員養成系の国立大学でもあり、担当代表者の橋本先生をはじめとする強力な布陣で成功裡に導いてくださることを大いに期待しております。また、会員諸氏には、より多くのご参加を願っています。

ところで、明年の話になりますが、本学会は六〇回大会という節目の年、つまり六〇周年を迎えます。これに合わせて「六〇周年記念行事」を企画すべく、昨年の岩手大会において、会員諸氏に記念行事についてアンケートを実施したところ、いくつかご意見をお寄せいただきました。現在検討している企画は「台湾研修の旅」です。台北市にある国立故宮博物院・中央研究院・何創時書法芸術基金会などを訪問し、特別参観が可能かどうか検討を始めております。企画がまとまり次第、会報やH. P. などを通じてご案内して参りたいと思います。ご期待ください。

全国大学書道学会 平成29年度(東京)大会 第1次案内

下記の要領で、全国大学書道学会平成29年度(東京)大会を開催します。ふるってご参加、研究発表のご応募、会員書作展へのご出品をいただきたくご案内申し上げます。

- 1) 主 催 全国大学書道学会
- 2) 開催大学 東京学芸大学
- 3) 開催日 平成29年9月30日(土)
- 4) 大会会場 東京学芸大学 中央講義棟(C棟)
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
- 5) 参加費 3,000円 *準会員(大学院生)は2,000円(予定)
- 6) 日 程 (予定 *発表件数により変動する場合があります。)
9:00 受 付 (中央講義棟〈C棟〉C204教室前)
9:30～10:30 開会式・総会 (中央講義棟〈C棟〉C204教室)
10:30～12:00 研究発表(1) (中央講義棟〈C棟〉C204教室・C203教室)
12:10～ 昼 食
13:00～14:35 研究発表(2) (中央講義棟〈C棟〉C204教室)
14:50～16:20 大会記念講演 (中央講義棟〈C棟〉C204教室)
16:30 閉 会

7) 研究発表の募集

大会における研究発表を希望する会員(含、準会員)は、下記の要領を確認の上、発表要旨を期日までに事務局(庶務担当)宛に郵送またはE-mail添付ファイルにてお送りください。内容は未発表のものに限ります。応募者には、後日、発表の可否を連絡いたします。なお、共同研究の場合、発表者以外の方が会員でない場合でも発表は可能です。なお、研究発表は、発表用レジュメまたはパワーポイント等を利用して行っていただきます。発表用レジュメ(100部)は、9月22日(金)必着で開催大学担当者宛に送付願います。発表後、学会誌へ投稿される場合には、連絡先を明記した別紙とともに、完成原稿(3部)を11月10日(金)までに事務局(庶務担当)宛に送付願います。

(1) 発表要旨

- ・要旨には、研究の意義・ねらい、方法、結論等を簡潔に記してください。
- ・体裁は、word文書A4標準設定、縦置き縦書き、上下2段組。1段は、縦33字、横23行、10.5ポイントで設定。
- ・要旨は上段に記載し、最初の4行に、タイトル、所属機関名及び役職・発表者氏名(共同研究の場合は全員)を記し、本文は500字以上627字(19行)以内、全23行以内としてください。
- ・下段には、発表者氏名、郵便番号、住所、電話(FAX)番号、E-mailアドレスを付記してください。会場施設の都合により、発表の際に使用するノートパソコンは各自ご用意ください。

(2) 申込締切 **7月7日(金) 必着**

(3) 送付先 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学書道研究室

電話・FAX: 042-329-7611 E-mail: tishii@u-gakugei.ac.jp

全国大学書道学会事務局 石井 健 宛

* E-mailで送付される場合は、念のため、送付した旨を郵便またはFAXでご一報ください。

8) 学会誌への投稿

大会における研究発表を経ずに、学会誌『大学書道研究』に研究論文を投稿される際は、学会誌または学会ホームページ掲載の執筆要項を確認の上、上記(1)にならった論文要旨を9月20(水)までに事務局(庶務担当)宛に送付・申し込みいただき、**完成原稿(3部)を11月10日(金)までに**事務局(庶務担当)宛に送付願います。

- * 大会において研究発表をされた方が、当該年度発行の学会誌に投稿される場合は、再度の論文要旨の送付・投稿申し込みは必要ありません。なお、次年度以降に発行される学会誌に投稿される場合は、所定の期日までに、あらためて論文要旨を送付し、投稿の申し込みをおこなってください。

9) 会員書作展

会員作品展を以下のように開催いたします。ふるってご出品ください。出品する会員・準会員は、下記の要領によってお申し込みください。詳細は、同封別紙の出品要項をご覧ください。

- (1) 会 期 9月29日(金)～10月1日(日) 9:00～17:00
 (2) 会 場 東京学芸大学芸術館1階展示室
 (3) 協 賛 費 7,000円(作品表装等の費用として)
 (4) 作品規格 同封別紙「全国大学書道学会会員書作展出品要項」でご確認ください。
 (5) 内 容 自由
 (6) 送付期日 **8月10日(木)必着** ※協賛費を払込の上、作品、出品票を同封のこと
 (7) 送 付 先 玉川堂(ぎょくせんどう) 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-3
 電話:03-3264-3741 FAX:03-3264-3742

*なお、協賛費は郵便振替口座払い込みとなります。今回同封の払込取扱票(赤色)を使い、年会費と併せて払い込んでください。

*出品作品は開催大学にご寄贈いただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

*期間中、芸術館2階展示室において「東京学芸大学所蔵「日高秩父コレクション」特別展示」がおこなわれる予定です。

- 10) 大会記念講演 演題:調整中
 講師:大石 学 先生(東京学芸大学教授・副学長/日本近世史)

11) 三学会合同懇親会

- 日 時 9月30日(土) 18:00～20:00 (予定)
 場 所 東京学芸大学第2むさしのホール2階
 会 費 会員3,000円 準会員(大学院生)1,500円 (予定額)

12) 理事会 常任理事、理事(地区担当、会務担当)はご出席ください。

- 日 時 9月29日(金) 18:30～20:30 (予定)
 会 場 東京学芸大学芸術・スポーツ2号館1階 第2会議室

13) 大会会場への交通・宿泊・昼食について

会場へのアクセス

交 通 JR中央線武蔵小金井駅下車、北口5番バス乗り場から京王バス「小平団地行」で約10分、「学芸大正門」下車、徒歩約5分。武蔵小金井駅北口からタクシー利用で大学正門まで約5分、820円程度。東京駅から武蔵小金井駅までは、JR中央線で約40分。新宿駅から武蔵小金井駅までは、JR中央線で約25分。

宿 泊 新宿駅(武蔵小金井駅までJR中央線で約25分)、立川駅(武蔵小金井駅までJR中央線で約11分)付近が施設数も多く便利です。各自ご手配願います。

昼 食 30日(土)は休日のため、学食は営業していません。コンビニエンスストアは学芸大正門前バス停そばに1軒あります。武蔵小金井駅付近での購入をおすすめします。

【お問合せ】 研究発表、大会に関するお問い合わせは、学会事務局庶務担当(石井健/東京学芸大学/
 E-mail:tishii@u-gakugei.ac.jp FAX:042-329-7611) 大会に関するお問い合わせは、下記
 開催大学担当者までE-mailでお願いいたします。

東京学芸大学:橋本栄一 E-mail:hasimoto@u-gakugei.ac.jp 電話・FAX:042-329-7614

本学会と併せて、下記の学会等が開催されます。(ただし、参加費は別扱いです。)

- * 9月29日(金) 12:00～ 日本教育大学協会(教大協)全国書道教育部門役員会
 13:30～ 日本教育大学協会(教大協)全国書道教育部門会
 17:30～ 全国大学書写書道教育学会理事会
 18:30～ 全国大学書道学会理事会
 * 9月30日(土) 9:00～ 全国大学書道学会
 18:00～ 三学会合同懇親会
 * 10月1日(日) 9:00～ 全国大学書写書道教育学会

追悼 城所 正(湖舟)先生を悼む

柿木原 くみ

平成二十九年四月十日に、横浜国立大学名誉教授で本学会参事の城所正先生が八十六歳で永眠されました。横浜国立大学で中山鶴雲先生に師事され、県立高校教員を経て横浜国立大学に勤務され、多くの後進を育成されました。また、本学会の発展に尽力され、ご在職中に開催された横浜大会の会員書作展では、大作の展示のできる会場を準備して盛り上げてくださいました。

先生ご自身は整正とした楷書を書かれる一方で、墨色の美しい自由闊達な作品を発表され、幅広い制作活動を展開されました。傘寿記念の個展を鳩居堂画廊で開催された折、米寿を迎えたときまたここで個展を開催したいと宣言され、楽しみにしておりましたので残念です。

奈良や金沢での学会には、城所先生はじめ手島寿子(朱琳)先生や、篠崎貞子(蓼花)先生、そして前田次郎先生と私とで参加しました。城所先生はカメラを持って折々の場面を撮影し記念アルバム制作され、一人一人に写真を焼き増してくださるなど、細やかな配慮をいただきました。

相模女子大学でも二十年余りご助力いただきました。書道科教育法や漢字書法などをご担当くださり、学生達には丁寧な接せられ、二度目の授業後にはほぼ全員の名前と顔を覚えておられたようでした。助手時代の私は、教室で何度か見かけた黒板の板書構成や色チョークの使い方の方の見事さに、消すことをためらうような気持ちになりました。

五月十二日、九段下の玉川堂さんに出向いた折、齋藤彰氏のご家族と私の四人で、しばし城所先生の思い出話をいたしました。城所先生は「彰ちゃん」と呼んでおられ、「我が家の犬は玉川堂の出なんだよ」と話しておられました。親元からは毎年誕生日にはプレゼントを送っておられたことなど、いろいろなご縁と繋がりがあつたことでした。

城所先生、ありがとうございます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

年会費納入のお願い

払込取扱票(赤色)により、年会費の納入を8月10日までお願いいたします。

- * 年会費は、会員 6,000 円、準会員(大学院生) 5,000 円です。なお、準会員は、大学院修了後、会員資格として扱います。
- * 未納分のある方は、払込取扱票にその旨記載していますので、未納年度の会費も併せて入金願います。滞納の状況により、会員資格を失います。不明な点がございましたら、下記事務局・会計担当宛て E-mail にてご照会ください。
- * 会員書作展に出品を希望される方は、協賛費 7,000 円を合算の上、納入してください。
- * 会員各位の所属につきましては、申し出がない限り、事務局での修正はいたしません。所属先・住所等の変更がございましたら、可及的速やかにご連絡ください。

新規入会申込について

会員の皆様から、新入会員をご推薦いただき、本会の一層の充実を図りたいと考えております。入会を申請される場合は、全国大学書道学会ホームページより「入会申込書」を印刷し、以下の手続きをお願いいたします。

- * 「入会申込書」に必要事項を記入の上、事務局・会計担当宛てに郵送または FAX してください。
- * 「入会申込書」を確認後、事務局より払込取扱票(赤色)を送付しますので、通信欄に「新入会員(準会員)入会年度年会費」と明記の上、会員 6,000 円、準会員(大学院生) 5,000 円をお振込ください。

◆口座番号 00110-9-613810

◆加入者名 全国大学書道学会

〈事務局・会計担当〉

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

電話・FAX: 027-220-7235 E-mail: no-naga@gunma-u.ac.jp

群馬大学教育学部 書論・書道史研究室 (永由徳夫)